

# 西表島の植物誌

## 木本類 (その2)



林野庁 九州森林管理局  
西表森林環境保全ふれあいセンター

## はじめに

西表島は日本最大規模のマングローブ林をはじめとする亜熱帯の原生林とわが国最大のサンゴ礁「石西礁瑚」に囲まれ、固有種であるイリオモテヤマネコをはじめとする希少な野生動植物が生息・生育する豊かな自然環境に恵まれています。

この西表島に国有林野を活用し自然再生活動に取り組むNPO団体や環境教育に携わる教育関係者等への支援活動の強化等を図るため、西表森林環境保全ふれあいセンターが平成16年4月に設置されました。

同センターでは、これまで西表島の小・中学校の学校行事である西表島横断、古見岳やテドウ山の登山、登山前の事前学習会等の支援を行ってきました。また、森林環境教育の教材として、「西表島での自然環境教育カリキュラム」、「西表島の名木集」等を作成し、西表島の小・中学校に配布し、活用いただいております。

今回、森林環境教育の教材として「西表島の植物誌」を作成することができました。これは、西表島は固有種が多く、全国的な植物図鑑ではなかなか植物名が特定できないこともあり、西表島での森林環境教育を推進する上において、是非とも必要な教材でした。

本書は、西表島でのフィールドを活用した自然再生活動に取り組む教育関係者、行政機関、各種団体、西表島の自然環境に関心のある方々の一助になれば幸いです。今後ともご意見、情報等を頂きながら、さらに補完・充実させていきたいと考えております。

最後になりますが、本書の発刊までに多くの皆様方にご指導ご協力を戴き、かつ具体的なお意見等を賜りましたことに対しまして、ここに厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

九州森林管理局長 沖 修司

# 目次

木本類<sup>もくほんるい</sup>..... P 1 — P 99

草本類<sup>そうほんるい</sup>..... P 101 — P 122

シダ植物<sup>しよくぶつ</sup>..... P 123 — P 128

街角の植物<sup>まちかど しよくぶつ</sup>..... P 129 — P 138

## 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup>

西表島の概要<sup>いりおもてしま がいよう</sup>..... 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 1 — 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 3

この本の使い方<sup>ほん つか かた</sup>..... 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 4

用語の解説<sup>ようご かいせつ</sup>..... 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 5 — 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 11

検索<sup>けんさく</sup>..... 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 12 — 参考資料<sup>さんこうしりよう</sup> 16

もくほんるい  
木本類  
(その2)

## リュウキュウモクセイ

科名: モクセイ科  
方言名: ナータロ、ナタルキ  
学名: *Osmanthus marginatus*

属名: モクセイ属



●山地の川沿いなどに生育する常緑の高木です。葉は対生革質、楕円形で長さ6～15cm、幅2～6cm、葉先は小さく尖ります。実は核果で長さ約1cm、黒色をしています。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。

## シマトネリコ

科名: モクセイ科  
別名: タイワンシオジ  
学名: *Fraxinus griffithii*

属名: トネリコ属  
方言名: コバナキ、コナツキ



花撮影日: 2009.06.09

●常緑・半常緑の高木です。葉はやや革質で5～9枚の奇数羽状複葉です。小葉は長楕円形などで長さ3～10cm、幅2～4cm、表面は無毛です。花は白い円錐花序で枝先につきます。実は長さ2～3cm、幅3.5～5mmで翼をもっています。

## ギョボク

科名: フウチョウソウ科

属名: ギョボク属

学名: *Crataeva religiosa*



撮影日: 2009.06.12

● 海岸沿いの低地に生育し、高さ3m程度の落葉の小高木です。若い葉は灰褐色で無毛、葉は互生し3出複葉、長さ5-12cmの葉柄があります。小葉は全縁、楕円形で葉先は鋭尖形、基部はくさび形です。実は液果で長さ3-4cmあり、実の皮は木質で多少のざらつきがあります。材は柔らかく軽いためイカ釣り用の餌木をつくったことから、魚木の名がついたといわれています。

## オオニンジンボク

科名: クマツヅラ科

属名: ハマゴウ属

学名: *Vitex quinata*



● 低地から山地に生育し、高さ13mに達する常緑の高木です。葉は掌状(5出)複葉、小葉は卵状長楕円形で長さ9-11cm、葉の縁は波状です。花は円錐花序で淡黄色になります。実は球形で大きさ径6mm、黒く熟します。

## オオバエゴノキ

科名: エゴノキ科

属名: エゴノキ属

別名: コウトウエゴノキ

学名: *Styrax japonica* var. *kotoensis*.



み  
実



花撮影日: 2008.02.15

●山の谷間に多く生育し、高さ7~8mの落葉の小高木で幹の肌は滑らかです。葉は互生し卵形などをしており、葉の縁は低い鋸歯があるか全縁です。葉先は鋭形、葉の基部はくさび形です。オオバエゴノキは、エゴノキ(葉の長さ4-8cm、幅2-4cm)より葉が大きくなっています。実は円錐形で長さ1cm程度、灰白色をしています。種はサポニンを含み毒があります。

## オールドガキ

科名: カキノキ科

属名: カキノキ属

学名: *Diospyros oldhami*



花撮影日: 2009.03.06



み  
実

●低地の山野に生育する落葉の中低木です。葉は互生、全縁ですが波状になっており、楕円形、葉先は鋭尖形で長さ7~13cm、幅3~5cmです。花は元が白色で、先が淡い赤色をしています。実は液果でやや扁平した球形、大きさは径約2.5cmです。

## アカハダノキ

科名：マメ科

別名：タマザキゴウガン

学名： *Archidendron lucidum*

属名：アカハダノキ属

方言名：ヤマヌバン、ヤマノバン



葉



みき  
幹

●山野に生育し、高さ10mに達する常緑の高木です。葉の表面は光沢があり、対生または互生し、小葉が8～16枚ある偶数羽状複葉で葉柄を含め20cm程度の長さです。小葉は楕円形で長さ5～10cm、幅2～4cm、葉先は鋭尖形です。実は豆果で長さ20cmにもなり、らせん状に湾曲します。幹は名前のとおり赤い肌を見ることができます。

## ヤンバルアワブキ

科名：アワブキ科

別名：フシノハアワブキ、リュウキュウアワブキ

学名： *Meliosma oldhamii*

属名：アワブキ属

方言名：ユピトウンガナシ、ユピトウキ



花撮影日：2007.05.24



み  
実

●山地の日当たりの良い谷筋などに生育し、高さ20mに達する落葉・半常緑の高木で、樹皮は褐色をしています。葉は小葉が9-15枚の奇数羽状複葉で、小葉は長楕円形をしています。葉先は鋭形、葉の基部はくさび形、葉先の半分に低い鋸歯があり、葉柄を含め長さ15～30cmです。枝先に大型の円錐花序の白い花が咲きます。実は核果で球形、径5mmほどで熟すと赤くなります。

## カンコノキ

科名: トウダイグサ科

属名: カンコノキ属

学名: *Glochidion obovatum*



●海岸に近い荒地や草原に生育、高さ1~6mの落葉または半落葉の低木です。葉は互生、両面とも無毛でやや薄く、上の葉は狭い卵形、葉先は鋭形など、葉の基部はくさび形で長さ2.5~5.5cm、幅1.5~2.5cmです。花は白色で、葉腋から束生します。日本だけに生育し、本州の近畿から琉球にかけての温帯や亜熱帯に生育します。雌雄異株、または雌雄同株となります。

## マルヤマカンコノキ

科名: トウダイグサ科

属名: マルヤマカンコノキ属

方言名: イギキ

学名: *Bridelia balansae*



●低地の溪流沿いから山頂まで生育し、高さ7mにもなる常緑の小高木です。葉は互生、革質で長楕円形で葉先は鋭尖形です。葉の長さは6~10cm、幅2~4cmで葉の両面とも無毛です。花は葉腋に束生してつきます。実は核果で卵形または長卵形をしており、黒または黒紫色に熟します。雌雄同株。

## カキバカンコノキ

科名: トウダイグサ科

属名: カンコノキ属

方言名: カーライジュ、カーライゾ、カーライゾキ

学名: *Glochidion zeylanicum*



●低地の林の中に生育し、高さ2-10mになる常緑の小高木です。枝は太く毛は無く、よく分枝します。葉はややく硬く互生し両面とも無毛の卵状楕円形で葉先は鋭形で葉の基部はくさび形です。葉の長さ7-18cm、幅4-6cmです。実は葉腋から束生し、扁平形の球形で径7-9mmです。熟すと黒色になります。屋久島、種子島から琉球にかけて生育しています。雌雄同株。

## キールンカンコノキ

科名: トウダイグサ科

属名: カンコノキ属

方言名: カライゾ

学名: *Glochidion lanceolatum*



●高さ10mになる常緑の高木で、枝は無毛です。葉は革質で全縁、互生し両面とも無毛の長楕円形、葉先は鋭形、葉の基部は切形または広くさび形です。葉の長さ5-9cm、幅2-3.5cmで、葉の側脈が目立ちます。花は葉腋に8-10mmの短い花軸が出て6-10個の花が咲きます。実は葉腋から紫色をした扁平形で球形の実を6-8個つけます。

## シロミズ

科名：アカネ科

属名：シロミズ属

方言名：シスミンチキ、シスミジャー

学名： *Tricalysia dubia*



●林内に生育し、高さ3-6mになる常緑の木で、全体に無毛です。葉は革質で互生し全縁、長楕円形から楕円形、葉先と葉の基部は鋭形です。花は黄緑白色または白色の花で外面は無毛ですが、内面は全体的に柔らかい毛があります。実は液果で球形、大きさは径約5mmほどあり、赤く熟し2-4個の種があります。屋久島、種子島から琉球にかけて生育しています。

## アカミズキ

科名：アカネ科

属名：アカミズキ属

別名：アカミズキ

方言名：アハミンチキ、アハミチキ

学名： *Wendlandia formosana*



●低地から山地の日当たりの良い湿った林内に生育し、高さ3mほどになる常緑の低木です。樹皮は薄い赤褐色で、若い枝は短い毛が生えています。葉は対生生まれに輪生し、長楕円形、葉先と基部はくさび形です。葉の長さは7-20cm、幅3-6cmで、葉の裏の脈の部分には少し毛が生えています。枝先に円錐花序の白い花が咲きます。実は球形で長さ約1.5mm、無毛です。種子は長さ約0.4mmで小さな翼があります。奄美大島以南から琉球や台湾にかけて生育しています。

## センリョウ

科名：センリョウ科

属名：センリョウ属

学名： *Sarcandra glabra*



●山地の半日陰に生  
育し、高さ70-100cmの  
常緑の低木です。葉  
は対生または輪生し、  
革質で硬く光沢があ  
り、長さ5-18cm、幅1-  
3cmの楕円形または  
長楕円形をしており、  
葉の縁は鋭い鋸歯が  
あります。花は穂状花  
穂で黄緑色の小さい  
花です。実は球形で径  
5-7mm、朱色またはだ  
いだい色に熟します。

## シマイズセンリョウ

科名：ヤブコウジ科

属名：イズセンリョウ属

学名： *Maesa tenera*



花撮影日：2009.02.21



み  
実

●低地から山地のやや湿気のある林内に生育し、高さ1m程度の常緑の低木です。葉は互生し楕円形または長楕円形で葉先は鋭形です。葉の長さ6-15cm、幅3-6cmで、葉の縁は波状または荒い鋸歯があり両面無毛です。花は腋生し、白色の花が総状花序に咲きます。実は液果の球形で径3.5-4mmです。九州南部から琉球にかけて生育しています。

## ヒレザンショウ

科名: ミカン科

属名: サンショウ属

別名: イワザンショウ

学名: *Zanthoxylum beecheyanum* var. *alatum*.



葉軸にはヒレのような翼がある

●海岸の岩地に生育する常緑の低木です。葉は奇数羽状複葉で小葉は倒卵形、小葉の長さは6mm程度です。葉の縁は目立たない浅い鋸歯があります。葉軸には目立った翼があり、茎には小さなトゲがあります。ヒレザンショウの名前の由来は葉軸に翼があることからこの名前がついたと言われています。琉球では庭木などに植えられています。

## テリバザンショウ

科名: ミカン科

属名: サンショウ属

学名: *Zanthoxylum nitidum*



葉の表面には鋭い刺がある

●低地の林内に生育する藤葛の仲間です。枝は無毛で、枝や葉の表面の中心には長さ1-3mmの鋭い刺があり、時には葉の裏側にも刺があります。葉は革質で光沢があり互生し、3-7枚の小葉からなる奇数羽状複葉で卵形または長楕円形、長さは5-9cmです。長さ約0.7mmの淡い黄色の花をつけます。久米島から八重山列島にかけて生育しています。

## ヤエヤマネコノチチ

科名: クロウメドキ科

属名: ネコノチチ属

学名: *Rhamnella inaequiltera*



はふちなみう  
葉の縁は波打っている

み  
実

●低地や山地でやや湿気のある谷筋などに生育する落葉の低木です。葉は互生し、長楕円形で長さ7-10cm、葉先は尾状形です。葉の縁は波形、葉の表面は深緑色で光沢があります。花は腋生し、小さな花が5-7個咲きます。実は核果で長さ5-6mm、黄色から赤色になり、さらに熟すと黒くなります。名前の由来は、実の形がネコの乳首に似ていることからこの名前がついたといわれています。

## ニンドウバノヤドリギ

科名: ヤドリギ科

属名: オオバヤドリギ属

学名: *Scurrula longicerifolius*



花撮影日: 2010.01.20



ね  
根

●常緑樹に寄生する常緑の低木です。葉は革質で対生し、長さ3-6cm、幅2-3.5cmの楕円形です。葉の縁は全縁で、葉先は円形、表面に毛はなく葉の裏には毛が密に生えており、灰褐色をしています。花は枝の付け根や葉が落ちたところから束生状に数個の赤色の花が咲きます。日本では西表島にしか生育しません。

ほか き きせい

他の木に寄生したニンドウバノヤドリギ

## オオムラサキシキブ

科名: クマツヅラ科

属名: ムラサキシキブ属

方言名: ガンカリヤン、ガンカリヤマキ

学名: *Callicarpa luxurians*



●海岸近くの山野に生育し、高さ3mぐらいの低木です。葉は対生し大きくて厚くやや光沢があり、長卵形で長さ10-20cm、葉の縁には並びの悪い鋸歯があります。また、葉の裏には少し毛があります。淡紫色の花が咲き、実は核果で球形の紫色、実の大きさは径4-5mmです。この木は、ムラサキシキブとヤブムラサキシキブの自然雑種と考えられています。

## ヤエヤマコンテリギ

科名: ユキノシタ科

属名: アジサイ属

学名: *Hydrangea yayeyamensis*.



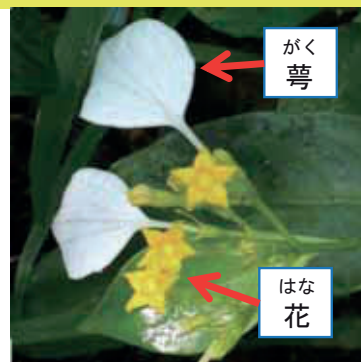
●林内に生育する高さ1-2mの落葉の低木です。枝は下の方からよく枝分かれし、若い枝は赤褐色で短い毛が生えています。葉は互生し、楕円形などで葉先は鋭尖形、基部はくさび形となっています。葉の長さは7-11cmで、葉の縁は荒い鋸歯があるものや全縁のものがあります。白色または淡黄色の花が咲きます。

## ヤエヤマコンロンカ

科名：アカネ科

属名：コンロンカ属

学名： *Mussaenda parviflora*.var. *yaeyamensis*



●林内に生育し、高さ2mほどの常緑の低木で、ややツル性です。葉は楕円形で葉先は鋭尖形です。コンロンカ(長さ6-12cm、幅2-4cm)よりも葉が大きく葉先が尖っており、葉の両面には短い毛が生えています。花は枝先からまばらに小さな星形の黄色い花が咲きます。一目見ると、白い花びらのようなものが目立ち花のように見えるのは「萼」という部分です。実は楕円形で無毛、長さ10-12mmです。

## ギョクシンカ

科名：アカネ科

属名：ギョクシンカ属

学名： *Tarenna gracilipes*



●山地の林内に生育し、高さ1.5-3mの常緑の低木です。葉は対生し全縁で楕円形など、葉先は鋭形で、長さ6-18cm、幅2.5-6.5cmです。葉の表面は無毛ですが、裏面は短い毛が生えています。花は枝先にまばらにつき、花びらの先は5つに分かれます。西表島や石垣島には、葉が大きく長さ13-20cm、幅6-9cmにもなるものがあり、変種ヤエヤマギョクシンカとして区別されています。

## セイシカ

科名: ツツジ科

属名: ツツジ属

方言名: ミキ、メーキ

学名: *Rhododendron latoucheae*



撮影日: 2008.02.21

●川治いの林内に生育し、高さ2-5m、ときには10mにも達する常緑の小高木です。若い枝は無毛、ときには若い枝や若葉は赤くなっています。葉は革質、互生し枝先に集まってついでおり、長さ5-9cm、幅1.3-3.5cmです。径4-5cmの淡い桃紫色の花が枝先に3-4個付きます。花の上の内側に紅い紫色の斑点があります。西表島や石垣島に生育します。

## サキシマツツジ

科名: ツツジ科

属名: ツツジ属

方言名: キカゾ

学名: *Rhododendron amanoi*



撮影日: 2009.06.27



●川岸の岩場などの林内に生育し、高さ1-2mの常緑の低木です。若い枝にはやわらかい毛と硬い毛が一緒に生えています。葉は厚くやや革質、長楕円形などで長さ2-6cm、幅1-1.5cmです。葉先と基部は鋭形です。径5-6cmの赤い花が枝先に1-3個咲きます。

## ヤエヤマヤマボウシ

科名：ミズキ科

属名：ヤマボウシ属

学名： *Cornus kousa* var. *yaeyamensis*.



撮影日：2009.04.13

●山野の林内に生育し、高さ5-10mの落葉の高木です。横の枝は水平に広がり、枝先に一対の葉を対生させます。葉は楕円形から卵形で、葉先は鋭尖形、長さ4-12cm、幅3-7cmです。葉の縁は波打っており、葉の裏には褐色の毛が生えています。花は初め淡い緑色でその後白い花になり、まれに紅色になります。実は紅く熟し、食べられません。材は硬く、器具材として用いられます。

## ノボタン

科名：ノボタン科

属名：ノボタン属

方言名：ハンクワー、マラハンカー

学名： *Melastoma candidum*



撮影日：2009.04.23

●乾いた草地、林縁などに生育し、高さ1-1.5mの常緑の低木です。枝は四角柱状で、やや柔らかい毛が付いています。葉は対生し卵型、卵型の長楕円形または長楕円形です。葉は主脈と側脈が目立ち、長さ6-12cm、幅2-6cmです。葉の両面にやや柔らかい毛があり、葉の縁は全縁です。花は、紅紫色まれに白色で、径6cm程度です。西表島では、大富歩道や西表亜熱帯樹木園で見ることができます。

## ハシカンボク

科名：ノボタン科

属名：ハシカンボク属

学名： *Bredia hirsuta*



撮影日：2009.11.08

●乾いた草地や林縁などに生育し、高さ30-100cmで常緑の低木です。枝は丸く短い毛があります。葉は対生し、薄い革質のような葉で卵形または卵状の長楕円形、長さ4-10cm、幅2-5cmです。葉先は鋭形、葉の裏側は白味をおびています。花は薄紅色の花が多数集まって咲き、大きさは径1.5cmぐらいです。また、短い毛が花の柄の部分にあります。花弁は4個あり、8-9mmです。屋久島、種子島から琉球にかけて生育します。

## ヤエヤマノボタン

科名：ノボタン科

属名：ハシカンボク属

学名： *Bredia yaeyamensis*



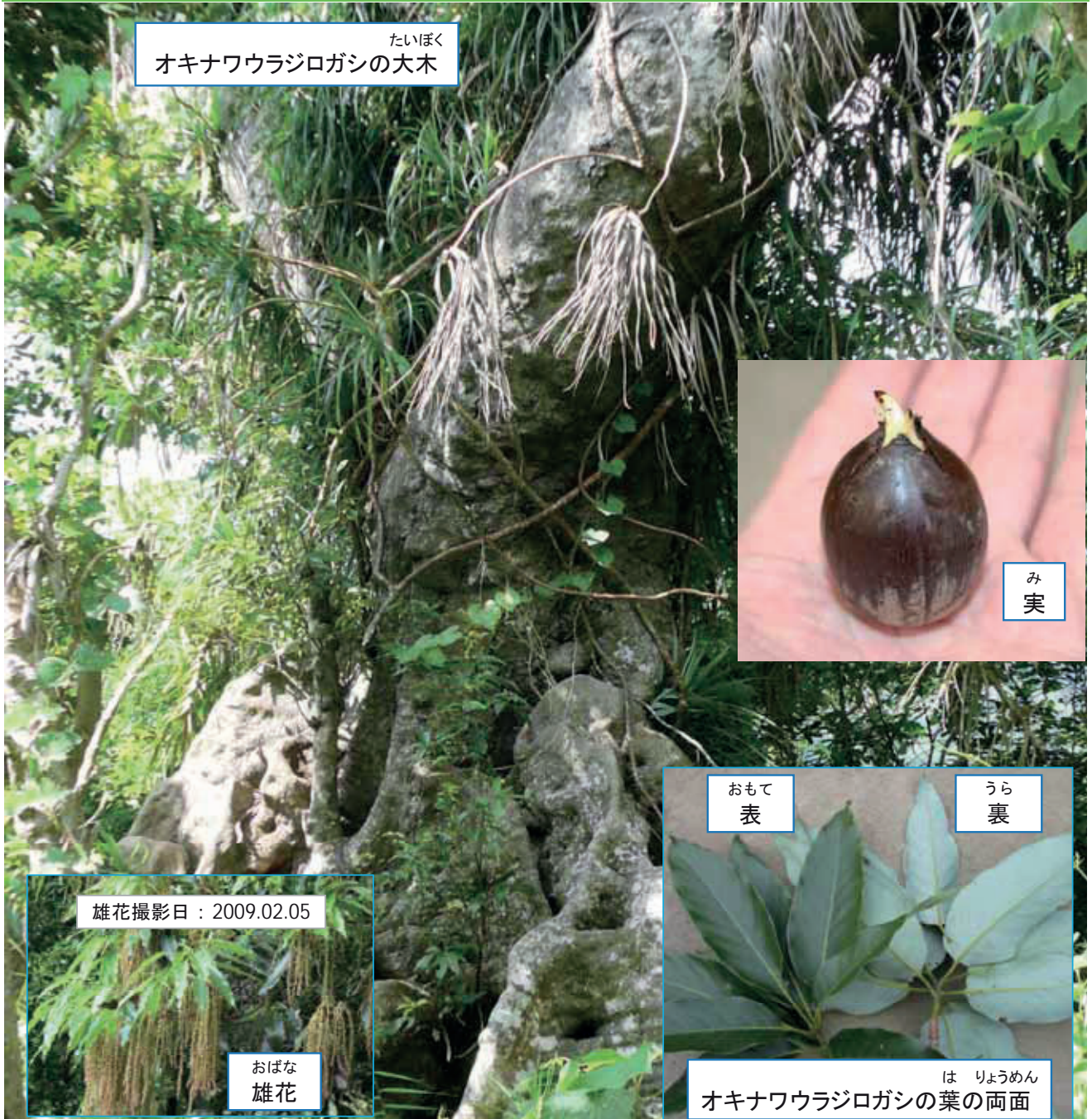
撮影日：2008.06.13

●乾いた草地や林縁などに生育し、高さ1-2mの常緑の低木です。葉は革質で対生し、楕円形で長さ5-15cm、幅1-6cmです。葉先は鋭尖形で、まばらに鋸齒があるものや無いものがあり、葉の両面には毛がありません。花は4-15個が枝先に集まって紅色の花が咲きます。琉球の固有種で、西表島や石垣島に生育します。

# オキナワウラジロガシ

科名: ブナ科  
 別名: ヤエヤマガシ  
 学名: *Quercus miyagii*

属名: コナラ属  
 方言名: カシキ、カシ



たいぼく  
オキナワウラジロガシの大木



み  
実



雄花撮影日: 2009.02.05

おばな  
雄花



おもて  
表

うら  
裏

は りょうめん  
オキナワウラジロガシの葉の両面

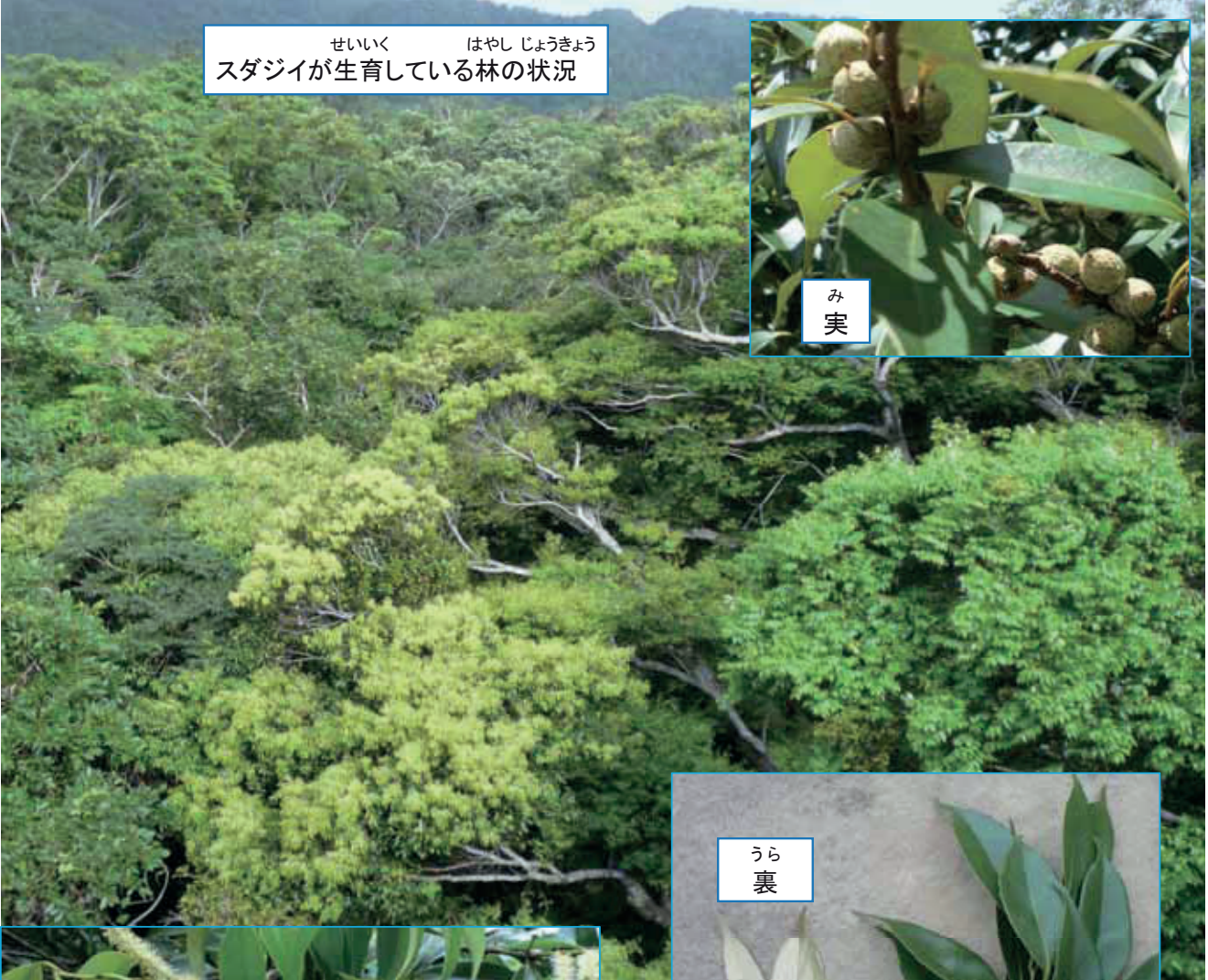
●山地の良く肥えた場所に生育し、高さ20m、直径1mを超える大きな木になります。樹皮はふつう緑灰黒色で皮目が目立ちます。若い枝は黒紫色で褐色の柔らかい毛が生えますが、まもなく無くなり円形、楕円形の小さな皮目が多くなります。葉の表面は光沢があり、裏面は白色または灰緑色で毛がまばらに生えており、長さ8-18cm、幅2-4cmです。葉は互生し、革質で広披針形をしており、葉先は鋭形、基部は円形または広くさび形です。葉の縁は基の部分を除き低い鋸歯があります。花は、葉腋から雄花と雌花が別々に咲き、実は堅果で、翌年の秋までに大きくなり成熟します。実は日本のカシの仲間では一番大きく、直径2.5cmにもなります。山に住む動物たちにとって重要な餌となります。日本の固有種で、琉球に生育します。

# スタジイ(オキナワジイ)

科名: ブナ科  
 別名: イタジイ  
 学名: *Castanopsis sieboldii*

属名: シイ属  
 方言名: シイキ、シイニキ

せいいく はやし じょうきょう  
 スタジイが生育している林の状況



み  
 実



うら  
 裏

おもて  
 表

わかば ぎんはくしよく はいかつしよく  
 スタジイの若葉は銀白色のちに灰褐色



おぼな  
 雄花

●低地から山地に生育し、高さが20mを超える高木になります。葉は互生し鋸歯があるものと無いものがあり、表面は深緑色で光沢があり裏面は灰褐色になります。雄花は穂状花序で葉腋から下を向き、強い香りを出し、長さが6-8cmになります。実は堅果で、受粉して成熟するまでに2年かかり、長さ1.5cm程度です。成熟した実は食べることができますが、リュウキュウイノシシ等の野生動物の大切な食料となります。琉球に生育するスタジイの地理的亜種で、西表島の森林を構成する代表的な照葉樹の一つです。

## シマヤマヒハツ

科名: トウダイグサ科  
 別名: コウトウヤマヒハツ  
 学名: *Antidesma pentandrum*.

属名: ヤマヒハツ属



べにいろ み  
 紅色の実



くろ じゆく み  
 黒く熟した実

●山地に生育し、人家の周りにもよく見られる常緑の低木で、まれに高い木もあります。枝は良く分かれており、小枝には褐色または白色の短い毛が生えています。葉は互生し卵形、広楕円形など全縁、葉先は短い鋭形で、長さ6-8cm、幅2-4cmです。葉の表面は無毛ですが、裏にはまばらに白い毛が生えています。花は葉腋または枝先から円錐花序になってつきます。実は核果で枝の先端に集まってつき、球形で径5mmです。初めは紅色で、後から黒く熟し食べられます。雌雄異株。

## ヤマヒハツ

科名: トウダイグサ科  
 方言名: ヤントウフシピヤー  
 学名: *Antidesma japonicum*

属名: ヤマヒハツ属



くろ じゆく み  
 黒く熟した実



花撮影日: 2008.04.08

●山地の明るい場所に生育する常緑の低木です。枝は良く分かれており、枝は細く、若い枝には短い毛が生えるものもあります。葉は互生し薄い革質、広い被針形などで葉先は長い鋭尖形、葉の長さは6-10cm、幅2-4cmです。花は葉腋または枝先から細長い総状花序のように咲きます。実は核果で葉腋や枝の先端に集まってつきますが、シマヤマヒハツのように球形でなく、ゆがんだ楕円形をしており、径3-6mm、黒く熟し、食べられます。雌雄異株。

## イジュ

科名: ツバキ科  
別名: ヒメツバキ  
学名: *Schima liukuensis*

属名: ヒメツバキ属  
方言名: イジュ



花撮影日: 2007.05.07



み  
実

●山地の荒れた場所に生育し、高さ10m以上にもなります。葉は互生し、被針形や卵形などで、葉先は鋭形か尾状形になります。葉の縁は少し波状かやや鋸歯があるか全縁です。葉の長さは8-13cm、幅2.2-3.7cmで成木では枝先に集まってつきます。花は白色で径5cmぐらいです。実は径1.2-2cmで、5つに割れますが開かず、そのまま地面に落下します。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。

## ヤブツバキ

科名: ツバキ科  
方言名: チバチ、チバキ  
学名: *Camellia japonica*

属名: ツバキ属



は ふち きよし  
葉の縁は鋸歯がある

花撮影日: 2008.03.11

●山野に生育し、人家の庭にも植えられており、高さ15mに達する常緑の高木です。葉は革質で硬く光沢があり、濃い緑色をしており、楕円形や長楕円形などで長さ4-8cmです。葉の縁にはまばなら鋸歯があります。花は濃い紅色、淡い紅色または白色で、大きさは径5-7cmです。この花は多量の蜜液を出し、鳥や昆虫を誘います。実は、ほぼ円形で径2-2.5cmです。

## サザンカ

科名: ツバキ科  
別名: オキナワサザンカ  
学名: *Camellia sasanqua*

属名: ツバキ属



●山地の比較的明るい林内や林縁に生育し、高さ5mになる常緑の小高木です。樹皮は灰白色、小枝は無毛ですが、若い枝には毛が生えています。葉は革質で硬く、表面は深緑色、裏面は淡緑色で長楕円形または卵状長楕円形、長さ4-8cmです。花は枝先に咲き、白色で径5-8cmです。実は球形で1.5-1.8cm、短くて柔らかい毛があり、中に3個ほどの種が入っています。サザンカはツバキと異なり、海岸には生育しません。昔から冬に咲く花として多くの園芸品種が育成され花の色も変化に富み、庭木、生け垣などに植えられています。

## ヒメサザンカ

科名: ツバキ科  
別名: リュウキュウツバキ  
学名: *Camellia lutchuensis*

属名: ツバキ属  
方言名: ミーアジューキ、ミキジヨ



●谷間の溪流沿いや、林内の半日陰に生育し、高さ10mに達する常緑の小高木です。樹皮は滑らかで灰白色をしており、小枝は細く短くて柔らかい毛があります。葉は互生し、サザンカと比べ小型で長さ1.5-4cm、楕円形または長楕円形です。葉の縁に小さな鋸歯があり薄い革質をしており、葉柄には毛が生えています。花は葉腋から香りのする白色の花が咲き、大きさは径3-4cmです。実は球形で無毛、径約1cmです。琉球固有の植物であり、別名リュウキュウツバキとも呼ばれています。

## サカキ

科名: ツバキ科

属名: サカキ属

方言名: フサリヤマイゾ、フサレイゾ

学名: *Cleyera japonica*



●山地の日陰でやや湿ったところに生育する常緑の低木です。小枝ははじめ緑白色で、しばしば赤みをおびることもあり、後に灰色を経て灰黒色になります。葉は互生し革質で硬くなり、長楕円状で長さ7-10cm、幅2-4cmで葉先は鋭形です。葉の表面は深緑色、裏面は淡灰緑色で鋸歯はありませんが、まれに見ることがあります。花は斜め下または下向きに白色のちに黄色をおびた花が咲きます。実は球形で径7-8mm、黒紫色に熟します。

## ケナガエサカキ

科名: ツバキ科

属名: ナガエサカキ属

学名: *Adinandra yaeyamensis*



●高さ7mに達する常緑の小高木です。葉は互生し革質、卵形で葉の先は鋭形、不明瞭な鋸歯があり、長さ5-9cm、幅2-3.5cmです。葉の表面は暗緑色、裏面は淡緑色で毛があります。花の色は淡い紅色です。実は液果で球形または卵形で長さ7mm、散らばって毛が生えており、実の先には花の柱が残っています。西表島、石垣島のみに生育する固有種です。

## リュウキュウコクタン

科名: カキノキ科

別名: ヤエヤマコクタン

学名: *Diospyros ferrea* var. *buxifolia*

属名: カキノキ属

方言名: キダキ、クルキ



●民家の生け垣などに植えられ、高さ数mになり、枝分かれが多い常緑の中高木です。樹皮は黒褐色で滑らか、若い枝には褐色の柔らかい毛があります。葉は厚い革質で硬く、長さ3-6.5cmの卵形をしており、葉の縁は滑らかな全縁です。花は、若い枝の間から1-3個の小さな花がつきます。実の大きさは8-14mmで、若い時には柔らかい毛に覆われており、その後、黄色から紅色に熟します。材質は硬くて重く、床柱や三線の竿などに使用されます。沖縄本島以南に生育します。

## リュウキュウガキ

科名: カキノキ科

方言名: ガーキ

学名: *Diospyros maritima*

属名: カキノキ属



●山野に生育する常緑の中高木で、樹皮は滑らかで黒褐色です。若い枝にははじめ小さな毛がまばらに生えますが、のちに毛は無くなります。葉は薄い革質で表面は光沢があり、裏面は無毛です。葉の形は楕円形をしており、長さ5-17cm、幅3-9cmです。実は球形で、はじめ黄褐色の毛がありますが、あとから無毛になります。大きさは径2-3cmで黄色く熟しますが、実は有毒で食べられません。徳之島よりも南の琉球に生育します。

## アワダン

科名: ミカン科

属名: アワダン属

学名: *Melicope triphylla*



撮影日: 2009.06.22

●山野に生育し、高さ3-5mの常緑の低木で、全体に毛はありません。若い枝は緑色ですが、2年目からは灰白色になります。葉は3出複葉で小葉は長楕円形、葉先は短く尖り基部は鋭形、長さ8-20cm、幅3-7cmです。花は葉腋から白く小さな花が円錐花序、長さ2-5cmにつきます。実は2-4個に分かれ、長さ4mmです。種はやや平たく長さ約3mmです。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。

## ショウベンノキ

科名: ミツバウツギ科

属名: ショウベンノキ属

別名: ヤマデキ

方言名: ジーピカ、ジービカキ、ズイブタ

学名: *Turpinia ternata*



撮影日: 2008.04.08



み  
実

●亜熱帯の常緑樹林内に生育し、高さ3-4m、ときには15mにもなる小高木です。葉は3つの小葉からなる3出複葉、まれに1個または5個の小葉からなります。小葉は楕円形で表面に光沢があり、無毛、縁には浅い鋸歯があり、長さ7-12cm、幅2.5-5cmです。花は円錐花序で多数の緑白色の花をつけます。実は、径7-10mmの球形で赤色に熟します。名の由来は「小便の木」で、春先にこの木の枝を切ると、切り口から樹液が多く出ることからその名がつけられたとされます。

## アデク

科名: フトモモ科

属名: フトモモ属

方言名: アジュキ、アジューキ

学名: *Syzygium buxifolium*



撮影日: 2007.05.10



こえだ しかつけい  
小枝は四角形

● 低地から山地の林内に生育し、高さ10-15mの常緑の小高木で、幹の大きさは径30cmになります。木の皮は赤褐色で全体に毛はありません。小枝は細く、四角形です。葉は対生、革質で楕円形～長楕円形、長さ1-3cm、幅1-2cmです。葉先は円形、基部はくさび形です。径約3mmで小さな花が集まって咲きます。実は液果で球形、径約7mmで紫褐色に熟します。材は極めて硬く、斧の柄などに使われます。九州南部から、屋久島、種子島および奄美大島以南の琉球にかけて生育します。

## ギーマ

科名: ツツジ科

属名: スノキ属

別名: ヒメシャシャンポ

方言名: ギーマ

学名: *Vaccinium wrightii*



はな  
花

花撮影日: 2008.04.08



み  
実

● 日当たりのよい尾根筋などに生育し、高さ1-3mの常緑の低木です。若枝には短くて柔らかい毛が生えますが、やがて無くなります。葉は革質で両面無毛、互生、楕円形長さ2-5cm、幅1-2.5cmです。葉先は尖り、小さな鋸歯のようなものがあります。また、花は上部の枝の葉腋から総状花序を伸ばし下側に向かって咲きます。実は液果で球形、径6-7mm、黒く熟し食べられます。奄美大島以南から琉球列島にかけて生育します。

## シバニッケイ

科名: クスノギ科

属名: ニッケイ属

方言名: シザキ、シザリ

学名: *Cinnamomum doederleinii*



●海岸の崖地から山地の林内に生育する常緑の小高木です。葉は革質で、対生しときには互生、卵状の楕円形で長さ4-6cm、幅1.5-2.5cmです。3つの葉脈が目立ち、葉の縁は裏側へやや反り返ります。表面は無毛、裏面ははじめ細かな毛がありますが、のちに無毛となります。花は腋生し淡黄緑色の小さな花が咲きます。実は液果で楕円形、黒紫色に熟し長さは7mmです。奄美大島以南から琉球列島にかけて生育します。

## コクテンギ

科名: ニシキギ科

属名: ニシキギ属

別名: クロトチュウ

方言名:

タシングラ、ビーパシングラ、ミーハンガラ

学名: *Euonymus tanakae*



●海岸の石灰岩地に多く生育し、高さ1.5-3mの常緑の低木です。枝は緑色で無毛です。葉は革質で枝先に束生し、葉は2年で紅葉して落葉します。葉の縁は小さな鋸歯がある卵状の楕円形で長さ3-15cm、幅1.5-6cmです。花は葉腋から径約1.3cmの緑白色の花が集まって咲きます。実の大きさは径約1.5cmです。九州南部から琉球にかけて生育します。

み  
実

## タブノキ

科名: クスノキ科  
 別名: イヌグス  
 学名: *Machilus thunbergii*

属名: タブノキ属  
 方言名: タブキ、アハタブ、タビ



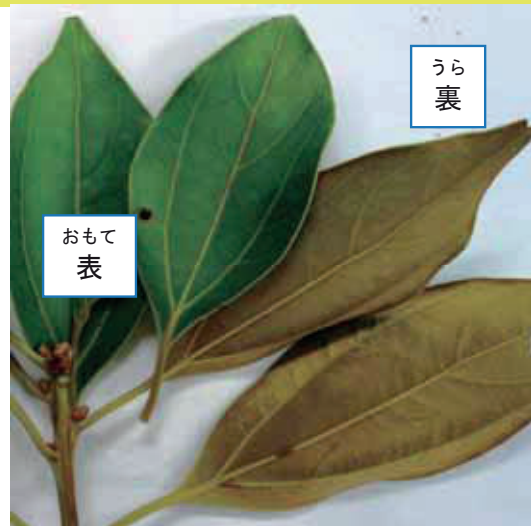
み  
実

●海岸近くの低地から山地に生育する常緑の高木です。小枝は無毛、緑色で横に広がります。葉は互生で革質、両面とも無毛で楕円形、長さ8-15cm、幅3-7cmです。葉の裏面は灰白色をしています。花は新しい枝に腋生し、円錐花序に黄緑色の花が咲きます。実の大きさは径約1cm、緑色から黒紫色に熟します。本州以南から琉球にかけて生育します。

## キンショクダモ

科名: クスノキ科  
 学名: *Neolitsea sericea ver. aurata*

属名: シロダモ属



おもて  
表

うら  
裏

●山地や低地の森林に生育する常緑の高木です。シロダモの種内変種との文献が一部ありますが、大部分の植物図鑑には掲載されていません。外見はシロダモそっくりですが、シロダモの若葉には柔らかい毛があるのに対し、キンショクダモは成長しても葉の裏に金色の毛が残ります。南西諸島のキンショクダモは春に開花し、秋咲きのシロダモとは明らかに異なると言われていています。九州以南から琉球にかけて生育します。

## マンリョウ

科名: ヤブコウジ科

属名: ヤブコウジ属

方言名: ヤーモーキ、ヤーモー

学名: *Ardisia crenata*



●山野の林内に生育し、高さ30-100cmの常緑の低木です。幹は直立し、灰白色で上部で枝を出します。葉は互生し両面無毛、濃緑色です。葉は少し赤みを帯びて厚く、長楕円形、長さ7-15cm、幅2-4cmです。葉先は鋭形、基部はくさび形、葉の縁は波状の鋸歯があります。花は散形花序で径約8mmの白い花が咲きます。実は液果のような核果で球形、径6-8mm、鮮やかな赤色に熟します。実が美しいことから、古くから鉢物などに栽培されています。

## ボチョウジ

科名: アカネ科

属名: ボチョウジ属

別名: リュウキュウアオキ

方言名: ウシヌシタキ

学名: *Psychotria rubra*



●山地の林内に生育し、高さ1.5-3mの常緑の低木で、全体に無毛です。葉は革質で対生し、長楕円形または狭い楕円形、長さ7-17cm、幅2.5-5cmです。葉先は短い鋭形か浅く2つに裂けてます。両面とも無毛で乾くと赤褐色になります。花は枝先に緑白色の花がまばらに咲きます。花の中は白色の柔らかい毛が生えています。実は液果で球形、径5-6mmで赤く熟します。

## モクタチバナ

科名: ヤブコウジ科

属名: ヤブコウジ属

方言名: アブチャンキ、アブッキ

学名: *Ardisia sieboldii*



花撮影日: 2008.04.23

●低地から山地の林内によく生育し、高さ2-10mの小高木です。枝は、太く灰白色または灰赤色で、幼木時には淡い褐色の毛があります。葉は互生し厚く、光沢はなく、倒卵形などで長さ7-12cm、幅2.5-4cmです。葉の縁は全縁、葉の裏は淡緑色をしています。花は枝の上部の葉腋につき、淡い紅色の花が散形花序に咲きます。花の大きさは径約7mmです。実は液果のような核果で球形、径7-8mmで黒紫色に熟します。

## シシアクチ

科名: ヤブコウジ科

属名: ヤブコウジ属

方言名: ヤマモーキ、ヤーモー

学名: *Ardisia quinquegona*



花撮影日: 2009.05.13



●山野の林内に生育し、高さ2-5mの常緑の低木です。よく枝分かれし、枝は灰褐色をしています。葉は互生、やや薄く卵形、長さ6-10cm、幅2-3.5cmです。葉先は鋭形、基部は漸尖形です。花は散形花序で腋生し、径約6mmの白い花が咲きます。実は液果のような核果で偏球形、径4-6mm、黒紫色に熟します。モクタチバナに似ていますが、シシアクチは小枝が細く、葉もやや薄いので区別がつけます。

## ヤマモモ

科名： ヤマモモ科

方言名： ムム、ムン

学名： *Myrica rubra*

属名： ヤマモモ属



●山地の日当たりの良い山野などに生育し、高さ6-10m、大きいものは20mにもなる常緑の高木です。葉は革質で広い被針形、長さ5-10cm、幅1.5-3cm、葉先は鋭形、基部はくさび形、両面とも無毛です。葉の縁は全縁かまばらな小さな鋸歯があり、幼木の葉は荒い鋸歯があります。花は葉腋から穂状花序に咲きます。実は核果で球形、径1.5-2cm、赤く熟し、実は食べられます。

## ヒメユズリハ

科名： ユズリハ科

方言名： ハブタキ、フブキ

学名： *Daphniphyllum teijsmannii*

属名： ユズリハ属



●低地から山地の比較的明るいところに生育する常緑の高木です。葉は互生し革質で全縁、表面は深緑色で光沢があり、裏面は緑白色です。今年の枝の先に集まってつき、被針形、長さ6-12cmで葉先は鋭形、基部はくさび形です。花は腋生の総状花序、淡緑色の花が咲き、開花前は紅色をしています。実は核果でゆがんだ楕円形をしており、長さ4-14mm、紅色から熟して黒色に変わります。雌雄異株。

## ホルトノキ

科名：ホルトノキ科  
別名：モガシ  
学名：*Elaeocarpus sylvestris* var. *ellipticus*

属名：ホルトノキ属  
方言名：ビーマツマヤ、マツマヤキ



●低地から山地の林内に生育し、高さ10mの常緑の高木です。上部でよく枝分かれし、木の形が丸くなっています。樹皮は淡い灰褐色で滑らか、小枝は無毛です。葉は互生し枝先に集まってつき、表面は深緑色、裏面は淡緑色で披針形、長さ5-12cm、幅1.4-3cmです。葉の縁は浅い鋸歯があり古い葉は鮮やかな紅色をしています。花は葉腋から総状花序に白色の花が咲きます。実は長楕円形で、はじめ緑色でのちに熟して黒紫色になります。

## コバンモチ

科名：ホルトノキ科  
方言名：マツマヤ、マツマヤキ  
学名：*Elaeocarpus japonicus*

属名：ホルトノキ属



撮影日：2008.04.08

●低地から山地のやや湿った場所に生育し、高さ5-7mの常緑の中高木です。樹皮は灰色または灰褐色で滑らか、目立たない皮目が連なった細かいちりめん模様ができます。葉は革質で互生し、縁には低い鋸歯があり、楕円形で長さ5-10cm、幅3-5cmです。葉先は鋭形、基部は円形などをしていませす。葉の表面は深緑色で光沢がありますが古い葉は紅色、裏面は淡緑色やや灰色です。花は葉腋から総状花序に下向きに淡緑黄色の花が咲きます。実は核果で楕円形、長さ約1cm、熟して黒紫色になります。

## クチナシ

科名：アカネ科  
別名：コリンクチナシ  
学名： *Gardenia jasminoides*

属名：クチナシ属  
方言名：ヤマヌチマキ、クチナシ



撮影日：2008.04.10

●低地から山地の林縁に生育し、高さ1-2mの常緑の低木で、全体に毛はありません。葉は対生し革質で全縁、長楕円形などで長さ5-12cm、幅2.5-5cmです。花は香りのある白色で、花びらの径は5-6cmで6つに裂けて咲きます。実は液果で楕円形、長さ2.5-3cm、幅1.8-2cm、燈黄色に熟します。クチナシは、庭木として栽培されて、中には花の大きさが径6-7cmのものもあります。

## 台湾オガタマ

科名：モクレン科  
方言名：ドウスンキ、ドウスヌキ  
学名： *Michelia compressa* ver. *formosana*

属名：オガタマノキ属



撮影日：2007.11.26

はな  
花

●山野に生育し、樹高15mにもなる高木です。葉は革質で互生し、長楕円形、長さ5-12cm、幅2-4cmです。葉の表面は深緑色、裏面は白みをおびており若いときには毛が生えています。花は腋生し、常黄白色の花が咲きます。実は卵形か球形で長さ1.5-2cm、2-3個の赤色の種が入っています。西南日本に生育するオガタマの葉より細長くなっています。オガタマとは、招霊のことと言われ、神事に用いられてきました。材は硬く、家具材などに使われてきました。

## フカノキ

科名：ウコギ科

属名：フカノキ属

方言名：アサングル、ピツヌクニキ

学名： *Schefflera octophylla*



●低地から山地の谷筋などのやや湿った場所に生育し、高さ6-7mの常緑の高木です。葉は互生し、長さ10-30cmの葉柄があり、長楕円形で6-9枚の小葉からなっている掌状複葉です。中央の葉が一番大きく長さ10-20cm、幅4-7cm、左右は小さくなります。枝先に総状花序で多数の緑白色の花が咲きます。実は液果状で球形、径約5mmで黒褐色に熟します。花の時期には沢山の蝶が集まって蜜を吸っています。

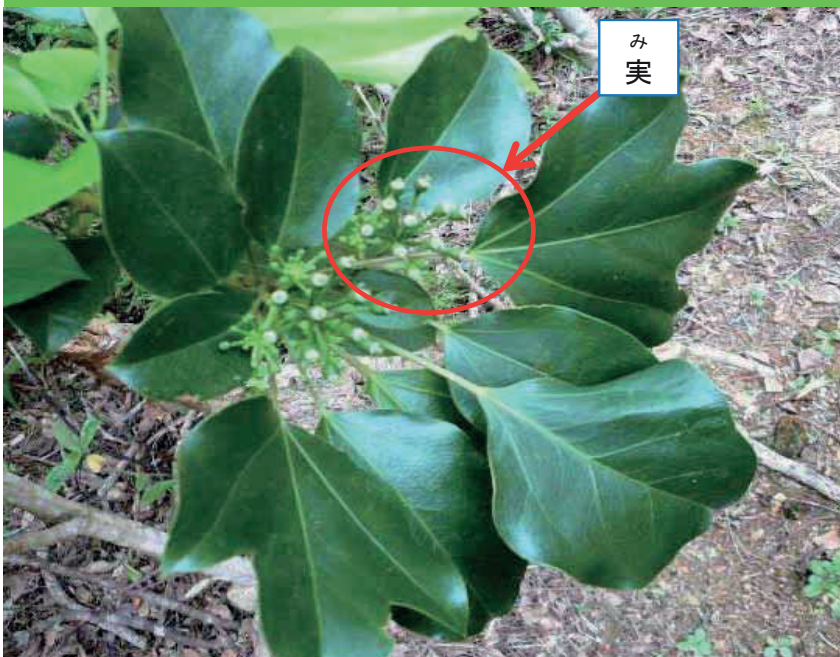
## カクレミノ

科名：ウコギ科

属名：カクレミノ属

方言名：ピーアサグロ、ピーアサングル

学名： *Dendropanax trifidus*



●低地から山地の湿ったところに生育し、高さ5-7m、ときには15mにもなる常緑の小高木で、全体に無毛です。若い枝は緑色をしています。葉は互生し全縁、葉先が3-5個に分かれます。また、花の付く葉は長楕円形などで葉先は分らないものが多く、長さ5-14cm、幅2-9cmです。枝先に散形花序で多数の淡黄緑色の花が咲きます。実は広楕円形、長さ約1cmで黒く熟します。

## リュウキュウマユミ

科名：ニシキギ科

方言名：パシングラキ、パシングラ

学名： *Euonymus lutchuensis*

属名：ニシキギ属



み  
実

●林内に生育し、高さ1.5-4mの常緑の低木です。枝は緑色で滑らか、無毛です。葉は対生、2年で落葉する薄い革質、被針形で長さ3-9cm、幅1-3cmです。葉の縁には両側に10個前後の低い鋸歯があります。花は腋生し、径約6mmの黄緑色の花が1-3個下向きに咲きます。実は長さ約1cmで燈赤色をしています。日本の固有種で、九州南部から琉球全体にかけて生育しています。

## イスノキ

科名：マンサク科

方言名：ユシ、ユシキ

学名： *Distylium racemosum*

属名：イスノキ属



み  
実



は  
な  
花

花撮影日：2008.03.10

●山地の斜面下部から中部の肥沃な場所に生育し、高さ8-10m、大きなものは25mにもなる常緑の高木です。葉は厚く互生し全縁、両面無毛で卵形、長さ3-7cm、幅1.5-3cmです。葉の縁は滑らかですが、ときには上部に鋸歯があり、しばしば大きくふくらんだ虫こぶができます。花は腋生し淡赤色の花が総状花序に咲きます。実は毛が生えており、広卵形で長さ7-10mmです。イスノキの名の由来は、琉球の方言だといわれています。

## クログネモチ

科名: モチノキ科  
方言名: アサシムヂ  
学名: *Ilex rotunda*

属名: モチノキ属  
方言名: アサシムヂ



●林内に生育し、高さ5-10m、大きなものは20mにもなる常緑の高木です。葉は互生し革質、楕円形で長さ6-10cm、幅2.5-4cmです。葉の両面とも無毛で、葉の縁は鋸歯がない滑らかな全縁で、葉先と基部は鋭形です。淡紫色の花が葉腋から散形花序に咲きます。実は楕円形で長さ約6mmです。赤く熟し、5-6個の種が入っています。クログネモチの名は、「黒金モチ」で枝や葉が黒みがかっていることからついたといわれています。雌雄異株。

## オオシイバモチ

科名: モチノキ科  
方言名: オームジ、コームヂ、ナガバームヂ  
学名: *Ilex warburgii*

属名: モチノキ属



●山野の川沿いに生育する高さ5-8mの常緑の高木です。葉は互生し楕円形で長さ5-10cm、幅2-4cmです。葉先は尾状形、基部は鋭形で、葉の縁に浅い鋸歯があり、両面無毛です。花は前年の枝に2-10個集まって咲きます。実は球形で径6mm、赤く熟します。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。雌雄異株。

## ツゲモチ

科名：モチノキ科  
 別名：オキナワソヨゴ  
 学名： *Ilex goshiensis*

属名：モチノキ属  
 方言名：パーマムジ、パマムジ



花撮影日：2009.06.10



み実

●山地の林内に生育する高さ6-10m、大きなものは10mにもなる常緑の高木です。若い枝は細く、毛が生えています。葉は革質で楕円形、長さ2-5cm、幅1.5-3cmです。両面無毛、鋸歯はありません。花は白色で1-5個集まって葉腋から咲きます。実は球形で径約5mmです。ツゲモチの名の由来は、葉がツゲの葉に似ていることからついたといわれています。

## ナガバイヌツゲ

科名：モチノキ科  
 学名： *Ilex maximowicziana*

属名：モチノキ属



●山地の林内に生育し、高さ3-10mの常緑の小高木です。若枝には目立つ溝の様なものがあります。葉は互生し楕円形などで、長さ3-8cm、幅1.5-3cmです。葉の先はやや尖り、その先端はわずかにへこんでいます。両面無毛、葉の縁に浅い鋸歯がまばらにあります。白い花が2-3個集まって葉腋から咲きます。実は球形で径約7mm、黒く熟します。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。雌雄異株。

## ヤマグルマ

科名: ヤマグルマ科

属名: ヤマグルマ属

方言名: イワモジ、ヤマトウガシ

学名: *Trochodendron aralioides*



●川岸などの斜面や岸壁などにも生育し、高さ20mにもなる常緑の高木です。全体に毛はありません。枝は緑色、樹皮は黒褐色を帯びた灰色です。葉は互生し革質で表面は光沢があり、卵形で長さ5-14cm、幅2-8cmです。葉先は多少尾状、歯の上部には鋸歯があります。枝先に10-20個集まって黄緑色の花が咲きます。実は球形で径7-10mm、熟すと褐色になります。ヤマグルマの名前の由来は、枝先に葉が車輪状に付いていることからこの名がついたとされています。

## ヒラギズイナ

科名: ユキノシタ科

属名: ズイナ属

方言名: モイタナキ

学名: *Itea oldhamii*



●山地の林内に生育し、高さ6-10mに達する常緑の高木です。若枝は淡緑色ではじめ毛が生えています。葉は革質で互生、楕円形などで長さ6-10cm、幅3-5cmです。葉の縁は全縁ですが、若葉は鋭い4-6個の鋸歯があります。枝先に多数の白色の花が総状花序に咲きます。

撮影日: 2008.10.14

## オオバルリミノキ

科名：アカネ科

属名：ルリミノキ属

学名： *Lasianthus obliquinervis*



●山野の歩道脇や林内に生育し、高さ1-2mの常緑の低木です。茎には短い毛が生えています。葉は対生し革質で全縁、長楕円形で長さ9-20cm、幅3-6.5cmです。葉の先は鋭形で基部は漸尖形、表面は無毛、裏面は短毛が生えています。花は葉腋から1-4個の白色で5列に裂けて花が咲きます。実は楕円形で黒紫色に熟します。奄美大島以南から琉球及び大東島にかけて生育します。

## リュウキュウルリミノキ

科名：アカネ科

属名：ルリミノキ属

別名：タシロルリミノキ

学名： *Lasianthus fordii*



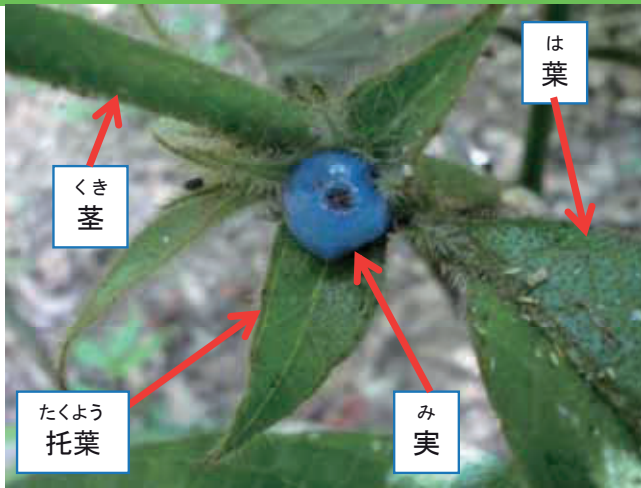
●山地の林内に生育し、高さ1mほどになる常緑の低木です。若い枝には短毛があります。葉は対生し長楕円形で長さ7-14cmです。葉先は尾状形、表面は無毛、裏面は短毛が生えます。花は葉腋から3-5個つき、5つに裂け、わずかに短毛があります。実は球形で径約5mm、瑠璃色に熟し、実の先に短い突起が残ります。屋久島から琉球にかけて生育します。

## タイワンルリミノキ

科名: アカネ科

属名: ルリミノキ属

学名: *Lasianthus cyanocarpus*



●山地の林内に生育し、高さ1mほどになる常緑の低木です。若枝には長い毛が密に生えますが、のちに無毛となります。葉は対生し革質で全縁、長楕円形で長さ11-23cm、幅3.5-6.5cmです。両面に長い剛毛がやや密に生え、葉柄の付け根にはも剛毛が密に生えます。葉先は鋭形、基部は漸尖形です。葉腋から淡黄褐色の花が咲きます。花には荒い毛があり、花びらは5つに裂けます。実は液果の球形で径5-6mm、瑠璃色に熟します。マルバルリミノキとの違いは、托葉が大きく目立つので見分けられます。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。

## マルバルリミノキ

科名: アカネ科

属名: ルリミノキ属

学名: *Lasianthus wallichii*



●山地の林内に生育し、高さ1mほどになる常緑の低木です。茎には黄褐色の剛毛が密生します。葉は対生し革質で全縁、長楕円形で長さ2.5-9cm、幅2-4cmです。葉先は鋭尖形、基部は円形です。表面は無毛、裏面は黄褐色の剛毛が密生します。花は腋生し、白色で5つに裂け、長さ7-8mmです。実は液果の球形で径約7mm、瑠璃色に熟します。屋久島から琉球にかけて生育します。

## アオバノキ

科名: ハイノキ科

属名: ハイノキ属

方言名: バイコノキ、バイカブラキ

学名: *Symplocos cochinchinensis*



はな (かいかまえ)  
花 (開花前)

撮影日: 2007.06.28

●山地に生育する常緑の低木です。葉は互生し革質で厚く、楕円形で長さ12-23cm、幅3.5-8cmです。葉の表面は光沢があり、裏面は淡緑色で側脈が隆起して目立ち、葉の縁は小さな鋸歯があります。葉腋から径約1cmの白色の花が咲きます。実は壺状の球形で長さ約6mm、黒く熟します。屋久島、種子島から琉球にかけて生育します。

## タカサゴシラタマ

科名: マタタビ科

属名: タカザゴシラタマ属

学名: *Saurauia tristyla*



花撮影日: 2007.05.24



み  
実

●山野に生育し、高さ5mに達する小高木で、小枝には剛毛があります。葉は互生し長楕円形などで長さ10-30cm、幅4-11cmです。葉の縁は刺状の鋸歯があり、両面とも褐色の毛が生えています。花は枝の葉腋の跡から白色または帯紅色で径1-1.5cm、1-4個集まって咲きます。実は液果の球形で径約1cm、白色に熟します。西表島、石垣島に生育します。

## ハクサンボク

科名: スイカズラ科

属名: ガマズミ属

学名: *Viburnum japonicum*



●低地から山地の林内などに生育し、高さ1.5-6mになる小高木です。樹皮は黒褐色、若枝は緑色でのちに帯紫色になります。葉は対生し革質で、卵形などで長さ5-20cm、幅4-15cmです。表面はなめらかで光沢があり暗緑色です。葉の上部に荒い鋸歯があります。枝の先から白色の花が咲き、悪臭があります。実は核果で楕円体、長さ7-9mm、赤く熟します。

## ヤエヤマシキミ

科名: シキミ科

属名: シキミ属

方言名: シキミ

学名: *Illicium anisatum* var. *tashiroi*



●山地の湿った場所に生育し、高さ2-5mの小高木です。葉は互生、縁は滑らかで革質です。日本の本州以南に生育する普通のシキミに比べ大きく、楕円形などで長さ6-11cm、幅2-4cm、葉先は鋭尖形です。花のびらは白色で10-25枚あります。実は径2-3cm、扁平な八角形で、毒があります。八重山列島に生育します。

## コウシュンカズラ

科名: キントラノオ科

属名: ササキカズラ属

学名: *Tristellateia australasiae*



撮影日: 2007.10.23

●琉球のマングロブ林や海岸の日当たりの良いところに生育し、高さ10mに達する常緑のツル性の木です。葉は対生し薄い革質、長楕円形で長さ5-14cmです。葉先は鋭尖形、葉柄の基部には1-2個の蜜を出すところがあります。径約2cmの黄色い花が葉腋から総状花序に咲きます。実はやや球形で約12mmです。

## ハナガサノキ

科名: アカネ科

属名: ヤエヤマアオキ属

学名: *Morinda umbellata*



み実

●低地から山地の林内に生育し、長さ3-6mになる常緑のツル性の木です。葉は革質、長さ5-12cm、幅2.5-5.5cm、楕円形で葉先は鋭尖形です。葉の表面は無毛、裏面は短毛があります。枝先に白い花が咲きます。実は不規則な球形で橙黄色に熟します。

## シマサルナシ

科名： マタタビ科

方言名： ナシカズラ

学名： *Actinidia rufa*

属名： マタタビ属



●低地から山地の林内に生育し、落葉するツル性の木です。葉は互生し厚い紙質、楕円形などで長さ6-13cm、幅4-8cmです。葉の縁は硬い鋸歯があり、表面は緑色、無毛で光沢があり、裏面は淡黄色で若葉のとき褐色の毛があるがのちに無毛となります。白色で径約1-1.5cmの花が咲きます。実はキウイフルーツを小さくしたようなもので楕円形、長さ3-4cm、緑褐色で褐色の斑点があり、毛が生えています。

## サカキカズラ

科名： キョウチクトウ科

方言名： アハナカツツア

学名： *Anodendron affine*

属名： サカキカズラ属



●低地から山地の林内に生育し、常緑のツル性の木です。他の木などに巻き付き、大きいものは径5cmにもなります。全体は無毛ですが、枝はやや紫色をおびています。葉は対生で革質、長楕円形で長さ5-10cm、幅1-3cmです。葉の縁は全縁です。枝先に淡黄色の花が集まって咲きます。実はそう果の円錐状で先が細くなっており、長さ約1.7cmです。実の先に3cmぐらいの白く長い毛が生え、風に吹かれて散布されます。

## オキナワテイカズラ

科名：キョウチクトウ科

属名：テイカズラ属

別名：リュウキュウテイカズラ

学名： *Trachelospermum gracilipes* var. *liukuense*



ようぼく  
幼木

●低地から山地の林内に生育する常緑でツル性の木です。若い枝に毛が生えますがそのあとは無毛となります。葉は対生、楕円形、長さ4-6cm、幅1.5-4cmです。葉の縁は全縁です。花は径約1.5cm、白色の花が咲きます。実は袋果、長さ18-28cmで細長く、種は長さ3cmの白い毛をつけ、風にふかれて散布されます。九州南部から琉球にかけて生育します。

## シラタマカズラ

科名：アカネ科

属名：ポチヨウジ属

学名： *Psychotria serpens*



み  
実



花撮影日：2007.05.31

●低地から山地の林内や道沿いに生育する常緑のツル性の木です。根は木の幹や岩などによじ登るような形でついています。葉は対生し革質、披針形で長さ1.5-4cm、幅0.5-2.5cmです。花は枝先に集まり、まばらに白色の花が咲きます。実は液果、球状楕円形で長さ4-5mm、白色に熟します。名前の由来は、果実が玉のように白色で目立つことからついたといわれています。

## リュウキュウマツ

科名： マツ科

属名： マツ属

別名： リュウキュウアカマツ、オキナワマツ

方言名： マチ

学名： *Pinus luchuensis*



み  
実



めばな  
雌花



おばな  
雄花

●海岸から山地に生育し、高いもので約25mにもなり、胸高部の径は約1mに達する常緑の高木です。葉は針のように堅くて細く尖り、短い枝に2本束ねた状態についており、長さ10-20cm、幅約1.2mmです。雄花は黄色、楕円形で長さ14-20mmです。雌花は紫紅色、卵形で長さ3mmです。実は球果で翌々年の秋に熟し、卵状円筒形で長さ3.5-6.5cm、幅2-2.5cmです。材はシロアリに好まれます。(雌花、雄花撮影日：2009年3月15日)

## トキワギョリュウ

科名： モクマオウ科

属名： モクマオウ属

別名： モクマオウ

学名： *Casuarina equisetifolia*



●海岸近くや畑の周囲、集落内に防風保安林などの目的として植林されており、高さ7-10m、ときには20mに達する常緑の高木です。若枝には灰白色の毛が密に生えますが、のちに無くなります。葉のように緑色に見えるのは小枝で、針のように細く垂れ下がりは長さは13-25cmになります。実は集合果、やや楕円形で長さ1.3-2cmです。この木は、明治41年に台湾より種を導入し、植栽されています。

## ヤエヤマヤシ

科名: ヤシ科  
 別名: ノヤシ  
 学名: *Satakentia liukuensis*

属名: ヤエヤマヤシ属



ぐんらくない  
 ウブンドルのヤエヤマヤシ群落内



み  
 実

●低地から山地に生育し、高さ15-25mに達する常緑の高木です。幹は円柱形で、木の先端に葉が集まっています。葉は羽状複葉で、長さ4-5mになり、葉柄は短く、葉身は光沢のある革質で、小葉は30-70cm、幅3-4cmです。実は核果、長楕円形で長さ約1.3mm、幅約7mmです。熟すと赤色から黄色になり、キジバトやヒヨドリなどの餌となっています。西表島と石垣島のみで生育する貴重な木です。

## ソテツ

科名: ソテツ科  
 学名: *Cycas revoluta*

属名: ソテツ属



おばな  
 雄花

雄花撮影日: 2007.05.14

み  
 実

●海岸の崖などに生育する常緑の低木です。幹の表面は魚の鱗みたいになっています。葉は長さ1mほどで、葉先は鋭く尖っています。雄花は円筒状で長さ1m、雌花は半球形で形30cm程度です。実は卵形で長さ約4cm、赤朱色で光沢があります。昔は、山野や畑の畦などに植栽され、茎からデンプンを探って食用としていました。また、実は薬用、食用にもなりますが毒があります。

## コミノクロツグ

科名： ヤシ科

方言名： マーニ

学名： *Arenga trewmula*

属名： クロツグ属



はな  
花

花撮影日：2008.05.12

●山野の湿った林内の斜面に生育し、高さ2-5mになる常緑の小高木です。葉柄は黒い繊維に覆われており、長さ1mぐらいになります。葉は長さ約1.5-2.5mになり、20-40対の小葉で偶数羽状複葉です。小葉は革質で長さ25-60cm、幅1.5-3cmです。表面は深緑色で光沢があり、裏面は灰白色、葉の縁にはまばらな鋸歯があります。花は腋生し、円錐花序で下に向きます。実は球形で径1-1.5cm、燈黄色で、熟すと黒くなります。葉はユビハブの材料になります。雌雄同株。

## ビロウ

科名： ヤシ科

方言名： クバ

学名： *Livistona chinensis*

属名： ビロー属



●海岸近くに生育し、高さ約15m、径40-60cmになる常緑の高木です。幹には不規則な輪状の凹凸があります。葉はほぼ円形で径1-2m、葉先は掌状に裂けて垂れ下がります。葉柄は長さ1.5-1.8m、幅6-7cmに達し太く、断面は三角形の形をしており、縁には逆向きのトゲがあります。花は黄緑、長さ4mmほどで特有の臭いがあります。実は核果、楕円で長さ1.8cmほどになり、緑黒色に熟します。亜熱帯よりも北の方では、街路樹や観賞用のため、公園などに植栽されています。

## イヌマキ

科名: マキ科  
別名: クサマキ  
学名: *Podocarpus macrophyllus*

属名: マキ属  
方言名: キャーギ、キャンギ



は葉



雄花撮影日: 2009.03.13



ようぼく  
幼木



み実

●海岸の低地から山地に生育し、高さ20m、胸高部の径が50cmにも達する常緑の高木です。樹皮は灰白色で浅く縦に裂けています。葉は互生し革質、線形で長さ10-20cm、幅7-10mmです。葉の縁は全縁、表面は深緑色をしています。雄花は葉腋から長さ3cm程度の円錐状に束生します。実は核果状の球形で暗紫色に熟し、甘味があり食べられます。材は白ありや湿気に強く、昔から家の柱用として、また、首里城にも使われています。昔から庭木や生け垣に植えられました。竹富町の木に指定されています。

## ナギ

科名: マキ科  
学名: *Podocarpus nagi*

属名: マキ属



ようぼく  
幼木



雄花撮影日: 2009.09.05



み実

●山地の湿気のある場所に生育し、高さ20mになる常緑の高木です。樹皮は滑らかで黒褐色をしています。葉は対生し革質、長い楕円形で長さ4-8cm、幅1-3cmです。葉は細く縦に側脈があります。花は葉腋から楕円状につきます。実は核果状の球形、径10-15mmで白緑色になります。人家の庭木等に植えられ、材は家具材や彫刻用に使われています。

## リョクチク

科名：イネ科

属名：ホウライチク属

学名： *Bambusa oldhami*.



●山野の林内に生育し、高さ12m、根元径は10cm程度になるイネ科の植物です。リョクチクのタケノコは初め粉が付いたような緑色、その後、深緑色、大きくなると黄緑色になります。葉は楕円状の披針形で長さ15-30cmです。タケノコは食用として美味しいため、台湾などから輸入され、日本でも栽培が盛んに行われています。

## リュウキュウチク

科名：イネ科

属名：メダケ属

別名：タイミンチク

方言名：ウシダイ、ヤマダキ、ヤマダイ

学名： *Pleioblastus linearis*



●山頂の日当たりのよい場所などに生育し、高さ1-3m、根元の径が1-2cmになるイネ科の植物です。葉は直立生の広い線形、長さ18-25cmです。節は無毛で、白色の帯があります。西表島では、古見岳などの山頂に生育しています。琉球列島の固有種です。